

11月19日(月)

永遠に続く祝福

聖書朗読 I テモテ 6:8~10

もし、私が金をおのれの頼みとし、黄金に向かって、私の抛り頼むもの、と言ったことがあるなら、あるいは、私の富が多いので喜び、私の手が多くの物を得たので、喜んだことがあるなら・・・これもまた裁判にかけて罰せられる罪だ。私が上なる神を否んだためだ。
ヨブ 31:24~25, 28

株価をチェックするのが毎日の習慣になっています。株価が上昇すると、私は幸せです。その一方、翌日株価が下落していると、心配になります。

長期投資のために最も良い方法は何でしょうか？ 金（ゴールド）だと言う人もいれば、投資信託や債券だと言う人もいます。銀行に預金しておくことが一番良いと言う人も大勢います。確かに、お金を賢く運用することは地上的な生活のために役立つ場合もあります。しかし、地上的な生活のみならず、私達を永遠に祝福する生き方があります。それは、神様とその御言葉に抛り頼んで歩む生き方です。神様が教えておられる生き方にこそ、本当に生き生きとした、そして永遠のいのちがあるということを思い起こしましょう。

経済的な富を増やすことに集中し過ぎると、私達の心は神様から離れがちになります。そして、神様にお仕えすることよりも、自分の地上的な財産のことで頭が一杯になってしまいます。しかし、私達は次のことを改めて思い起こしましょう。神の義、善、信仰、愛、忍耐強さ、優しさをキリスト者として求めていく生き方こそ、永遠に私達を祝福する生き方です。

神とその義を求める人々には、彼らの必要をいつも満たして下さる、と神様は約束して下さっています。御国に心を向けましょう。全ての必要は神様によって満たされます。

讃美歌 494

祈り 愛する神様、食べ物、服、家、その他必要なものを日々与えて下さっていることに感謝します。日常生活の中で思い悩む時があっても、信仰を保ち、あなたにより強められつつ、歩んで行くことが出来ますよう、お導き下さい。

イエス様の御名を通して祈り致します。アーメン。

ジェーン・ポー・マッセイ
テキサス州ヒューストン

今日の力

2018年11月19日～11月25日

翻訳 伊藤若菜

編集 相川忠義

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

11月20日(火)

神様の息

聖書朗読 II テモテ 3:12~17

神である主は土地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。そこで人は生きものとなった。
創世記 2:7

私は自分に他人の息がかかることが好きではありません。息がかかると、菌が伝染する恐れもあり、それにより病気になってしまう場合もあります。また、口臭がキツイ場合も不愉快に感じますし、誰かの熱い息を感じるのも決して気分が良いことではありません。ですから、私達は普通、人と適切な距離を保ちたいと思います。

しかしながら、もし私が突然心不全になり、意識不明になったとしたら、心肺蘇生法の知識がある人が心臓マッサージをし、蘇生をしてくれることを望みます。恐らくそれが私の命を救う唯一の方法だからです。このような場合は、「他人の息が気になる」などとは言っていないと思います。

創世記2:7を見ますと、神様がいのちの息を吹き込まれ、アダムを造られた過程が説明されています。これは救命処置どこかに似ているとも言えないでしょうか。他にもヨブ33:4や使徒17:25でも神様が人間に息を吹き込みいのちを与えられたことが書かれています。

本日の聖書朗読箇所、聖書は「神の靈感によるもの」とあります。これには、「神が息を吹き込まれた」といった意味合いがあります。ですから、聖書の言葉を私達の心の中に受け入れていくということは、神が与えて下さるいのちの息を私達の心の中に入れる、と言えます。このようにして、創造主なる神様は今日も私達に息を吹き込んで下さろうとしておられるのです。

讃美歌 501

祈り 全能なる創造主、神様。あなたのひとり子であるイエス様を与えて下さり、私達にいのちを与えて下さり、ありがとうございます。あなたの御言葉を通して、私達を日々養って下さい。
イエス様の御名を通して祈り致します。アーメン。

ロバート・リー
コロラド州オーロラ

11月21日(水)

私達への贈物

聖書朗読 ヤコブ 1:16~18

すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光を造られた父から下るのです。父には移り変わりや、移り行く影はありません。

ヤコブ 1:17

贈物を頂いて、やや困ってしまうことはありませんか？ その品物自体は確かに素晴らしいのですが、私達には必要性が全く無い物ですとか、使い道の無い物などを頂くと、そう感じてしまうかもしれません。贈物をして下さった方は、その人なりに色々と考えて、またお金を使って、その贈物を用意して下さいだと思います。ですから、ちょっと困った贈り物を頂いた際でも、私達は笑顔で感謝し、お礼を伝えると思います。しかし、その贈物はどこかへ仕舞い込まれ、日の目をみることはないでしょう。或いは、その品物を本当に必要としている人に、お譲りする場合もあるでしょう。

喜ばれない品物をわざと誰かに差し上げる、という人は普通はいないと思います。特に親しい人や特別な人に何かを差し上げる時は、よく考えた上で贈物を差し上げると思います。ヤコブによると、神様は私達に贈物を下さるだけでなく、その贈物は全て私達にとって必要な物です。神様が私達に下さる贈物は、私達にとって最も良い、適切な贈物なのです。主イエスも、天の父なる神様は私達に良いものをお与えになる、とおっしゃっています。その最たる例が、ひとり子であるイエス様を私達のために与えて下さったことではないでしょうか。このイエス様を通して、私達は永遠のいのちを頂くことが出来るのです(ヨハネ3:16) この贈物ほど感謝を覚える贈物はないでしょう。

讃美歌 332

祈り 天のお父様、私達を愛して下さい、そして沢山の素晴らしい贈物を下さりありがとうございます。何よりも、あなたのひとり子であるイエス様をも下さった愛に感謝します。その偉大な愛に気づき、全てのことを御心に従い行えるようお助け下さい。

イエス様の御名を通して祈り致します。アーメン。

セラーズ・クレイン
テネシー州ヘンダーソンヴィル

11月22日（木）

謙 虚 さ

聖書朗読 ヤコブ 4：5～10

まことに、主は高くあられるが、低い者を顧みて下さいます。しかし、高ぶる者を遠くから見抜かれます。詩篇 138：6

もし神様を遠くに感じるなら、誰が神様を遠くへと引き離してしまったのでしょうか？ 神様は、謙虚で「低い者」たちを大切に顧みて下さるということを思い起こして下さい。「低い者」とは、社会的地位が低いという意味では必ずしもありません。謙虚で「低い者」とは、経済的富や社会的地位、名声等を価値の基準とはしない人たちのことであり、神の御前で謙虚な思いを持つ人達のことです。このような人々を、神様は顧みて下さいます。

ですから、もし神様を遠くに感じることもあるならば、謙虚に自分自身を低くする必要があります。もし皆に自慢したくなるような美しい髪があなたにあったとしても、神様にとってそのような物質的な美しさは殆ど重要ではありません。しかし、私達は物質的な美しさや経済的富に心を奪われがちで、神の前での謙虚さを失いがちです。そして神との関係も疎かにしてしまい、神を近くに感じる事が出来なくなってしまうのです。

誤解して頂きたいのですが、柔和であることや謙虚であることは、弱々しくいることや熱心さを持たないということではありません。私の友人の一人は、ビジネスの世界で非常に熱心に仕事をし、成功を収めました。しかし彼は同時に謙虚さに溢れる人です。彼は、ビジネス上の成功によって謙虚さを失ってしまうことはなかったのです。謙虚さを失わないためには、創造主なる神に拠り頼む信仰が必要であり、それは子供が親に対し持っているような信頼関係を神に対して持つことです。そのように、神に対し心を向ける時、神様は私達を喜んで下さいます。神の豊かな祝福が、私達をいつも謙虚して下さいように。

讃美歌 513

祈 り 全能であられる神様、私達に沢山の恵みを備えて下さり、ありがとうございます。私達が何らかの地上的な成功を収める時があっても、高慢になったりしないよう、私達をお導き下さい。

イエス様の御名を通して祈り致します。アーメン。

スティーブン・クラーク・ゴアド
カリフォルニア州ブライズ

11月23日（金）

それぞれに与えられている賜物

聖書朗読 I ペテロ 4：8～11

こうして、キリストご自身が、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師として、お立てになったのです。それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためであり、ついに、私達がみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身だけにまで達するためです。エペソ 4：11～13

私は物事を狭い視野で考えてしまい、神の御心や神がお決めになった最善のタイミングを無視してしまうことが多々あります。しかし、そんな私でさえ、神様は赦して下さいます。神様のご計画を刺しゅうに譬えるなら、私は刺しゅうの表の面（つまり神様のご計画の一面）だけ見てしまう傾向があるのですが、刺しゅうの裏側（私達には見えづらい、神様のご計画の背後にある深い御心）については無視しがちです。

私達は、皆それぞれ神様から違った賜物を頂いています。私はつい、人それぞれに与えられている賜物を無視して、誰もが自分と同じような仕方でも奉仕することを期待してしまいます。例えば、お祈りのスタイル、賛美歌の歌い方、整理整頓の方法、芸術の楽しみ方でもそうです。私は外向的な性格ですが、反対の内向的な性格の人たちも私と同じように神様を賛美していることを忘れてはいけません。教会で兄弟姉妹が自分と同じようなやり方で賛美することを期待してしまっていますが、本日の聖書朗読箇所は次のように言っていることを思い起こしたいと思います。「それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい」。各自が受けている賜物は「神が豊かに備えて下さる力によって」用いられるべきです。そして一番大切なことは、「イエス・キリストを通して神があがめられる」ことである、ということを中心に刻みたいと思います。

讃美歌 188

祈 り 神様、どうぞ私の目を開かせて下さい。そして、あなたの素晴らしい働きを、大自然、人、言葉、芸術、奉仕、人々の歩みの中に見ることが出来ますように。

イエス様の御名を通して祈り致します。アーメン。

ボブ・メイズ
テキサス州ラボック

11月24日 (土)

霊的に豊かな歩み

聖書朗読 II ペテロ 1:5~8

なぜなら、神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからです。

I コリント 1:25

イエス様は、御国の価値観に基づいて人生を考えるようお教えになりましたが、その教えは人々を大変驚かせました。主イエスの宣教は、御国の価値観を語ることから始められましたが、主が宣べ伝えた御国の価値観は、この世の価値観とは全く逆とも言える価値観でした。イエス様の時代ですら、御国の価値観とこの世の価値観との間に大きな違いがあったのですから、こんにちのこの世の価値観と比べたら、さらに大きな違いがあると言えましょう。しかし、主が宣べ伝えた御国の価値観ですから、私達はそれを変えたり、修正したり、省略したりするべきではありません。

私達の心の姿勢は、私達にとって極めて重要です。主イエスは、社会的地位、地位、お金といったものは御国では重要ではないことを教えておられます。そして、御国の価値観に基づいて心から神様に従うことが大切であることを教えました。興味深いことに、御国の価値観に基づく歩みは、御国のみならずこの地上でも祝福された生活へと導くのです。

聖書には、御国の価値観に基づく心の姿勢やその結果生じる態度について、リストにして述べている箇所があります。善、真の知識、愛、喜び、平和、柔和、純潔、寛容、誠実、慈しみ・・・と言った心の姿勢や態度です。これらの心の姿勢や態度が、私達にも与えられるよう、神に心を向け、祈り求めましょう。

讃美歌 321

祈り 天におられるお父様、私達が求めるべき心の姿勢や態度について教えて下さり、ありがとうございます。私達の心や態度が、あなたによって導かれますように。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

W・スコット・ウッドリー
テネシー州キングストン

11月25日(日)

互いに愛し合う

聖書朗読 I ヨハネ 4:19~5:4

神を愛するとは、神の命令を守ることです。その命令は重荷とはなりません。

I ヨハネ 5:3

日々の生活の様々な場面で、私達は命令に従っています。例えば、赤信号は止まれという命令ですし、緊急車両が来たら路肩に停車することも、法令により命じられています。また、ATMでお金を引き出す際にも暗証番号を入力するよう機械が私達に命令します。

これらの命令に対して、私達はあまり重荷を感じないと思います。しかし、次のような命令を受けたとしたらいかがですか？ 病気の人、弱い人を助けるようにとの命令や、孤児の面倒を見るようにとの命令です。ある程度時間的ゆとりのある人は、喜んでそうした命令に従うかも知れませんが、私自身は「他にしなくてはならないことが沢山あるので嫌だ」と、つい思ってしまう。

今日の聖書朗読箇所では、神様からの命令に従うことは決して重荷になることはなく、喜びであると書かれています。なぜなら、神の命令に従うことは、神の愛を世に對し示していくことに繋がるからです。私達が兄弟を愛そうとする時、世の人々は私達の愛を見て神様の愛について知なのです。神様の素晴らしい愛を伝えていく上で、神の命令に従い互いに愛し合うことは、最善の方法なのです。

讃美歌 403

祈り 神様、あなたの命令に従い、互いに愛し合うことによって、あなたを世に對し証することが出来ますように。一人子であるイエス様を与えて下さったことにより、本当の愛の意味を教えて下さり、ありがとうございます。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

マーク・ヤング
ワシントン州ヤキマ